



わたしたち民主党宇治市会議員団は、皆さんと共に「対話から始まる 思いやりのある まちづくり」による健全な市政運営を目指し日々活動しております。皆さんの「思い」をぶつけてください。

発行:民主党宇治市会議員団
宇治市宇治琵琶33番地(宇治市議会内)
TEL 0774-20-8747 電話 0774-20-8748
FAX 0774-21-9199

平成
24年度

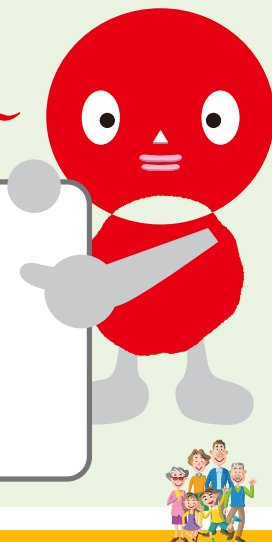
一般会計当初予算 576億円!!

～「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の 実現に向け、重要施策を着実に実施～

予算のポイント

東日本大震災の影響などにより景気が依然として厳しいなかで、市税収入の急激な減少や社会保障関係費の増加など、宇治市の財政を取り巻く環境は極めて厳しい状況ですが、「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の実現に向けた各種施策を推進するために、一般会計当初予算として、宇治市は576億円を計上しました。(昨年度より5.4%減)

私ども民主党宇治市会議員団が平成24年度予算要望した重点3項目『行財政改革』『安全・安心のまちづくり』『観光・景観保全』もバランスよく予算配分されたと考えています。



1 災害につよいまち



危機管理体制の充実

- 防災事業費(拡充事業)..... **4051**万円
避難所備蓄品の充実を図り、地域防災活動の中心となるリーダーを養成
- 地域防災計画策定費(新規事業)・・・ **800**万円
地域防災計画の改定及び業務継続計画を策定

2 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち

子育て支援の充実

- 乳児家庭全戸訪問事業(新規事業)・・・ **900**万円
育児ストレス解消等のため全戸訪問事業を実施
- 児童虐待防止対策緊急強化事業費(新規事業)・ **430**万円
児童相談所との連携強化や緊急的な取組を実施
- 子育て支援医療費支給費(拡充事業) **2億9043**万円
9月診療分より、入院外医療費の助成を小学校就学前まで「月額200円自己負担」、小学校1～6年生は「月額3000円超分の償還払い」に拡大

平成24年度の重点的取組

記載内容は重点的取組の一部です。詳しい内容は宇治市ホームページに掲載される予定です。 <http://www.city.uji.kyoto.jp>

3 学校教育の充実したまち



学校施設環境の充実、耐震化の推進

- 小中学校大規模改造事業(拡充事業) **5億5989**万円
小学校4校、中学校2校において空調機設置工事を実施
- 小中学校耐震改修事業(拡充事業) **5691**万円
小学校3校、中学校1校において耐震改修設計を実施

4 信頼される都市経営のまち

民間活力の活用

- 学校給食調理、可燃ごみ収集運搬業務の民間委託を拡大
より効率的に行政サービスを提供するため、民間活力を活用し、学校給食調理や可燃ごみ収集運搬業務などについて民間委託等を推進



ホームページが新しくなりました!!



民主党宇治 |

検索

<http://www.wao.or.jp/uji-minshu/>

私たちの目指すカタチ「宇治スタイル」や議会での質問などをタイムリーに掲載。また、皆様からのご意見募集もありますので、どどんぶつけてください。まちづくりの対話をしましょう。

平成24年3月定例会 代表質問



田中 美貴子 議員 【たなか みきこ】

1. 市民との協働



質問

行政課題を解消するには、行政職員のみではなしえる事はなく、情報提供も含めて、市民との協働がなければニーズに沿った行政運営を図る事は出来ない。官民一体、対等で行政運営をしっかりと行なう事で、行財政改革が断行出来るものと思っている。市民との協働をどのように考えているか。

答弁

全ての市民ニーズを行政だけで担っていくことにはおのずと限界がある。「受益と負担」の公平性の観点に立って、ばらまき給付ではなく制度で支えるという地方自治体の本来の役割を十分に検証しながら、行財政運営を進める必要があると考えている。これまでの一方通行的な行政サービスの提供という仕組みから、行政が行うべきこと、市民の皆さん自らが行っていただくこと、行政と市民が協働して行うことを明確にし、それぞれが果たすべき役割を果たしていくことで、市がリーダーシップを発揮し、「あれも、これも」から「あれか、これか」を選択した上で、公平公正な行政運営を進めていくとともに、各種団体やNPO、自治会等の地域組織、大学や企業など様々な団体等との協働の仕組み作りにも努めることで、市民や地域自らが公共サービスの提供に参画するシステムの構築を進めていく。

2. 一時避難場所

質問

水害の一時避難場所に京滋バイパスを利用できないか。

答弁

本市においては、対象地域が限定されるものの大雨などの洪水時の緊急的な一時避難場所として有効な方策の一つであると考えている。今後、関係市町とも活用方法について検討を行い、その結果を踏まえて、国や道路会社に要望することを検討していきたい。

3. 分散進学における各課との連携

質問

小中一貫教育を推進するためにも、分散進学の解消は必要となってくる。学校を地域の核と考えた時、教育部局だけで議論をするのではなく、関係する各課との調整をすべきである。

答弁

開かれた学校づくりを掲げ、学校と保護者・地域社会との連携のもと共に手を携え、子どもたちの健やかな成長に向け、教育活動を進めてきた。義務教育9年間の成果をあげるためには、地域社会との連携においても、中学校区を一つの地域として捉えた教育ネットワークを構築し、地域社会・保護者相互の連携を深め、学校・家庭・地域社会が一体となって学びを作っていくことが大切だと考えている。小中一貫教育を進める上での課題となっている分散進学の是正を図るためには、小中学校の通学区の変更なども含め学校再編等が必要となることから、教育部局だけではなく地域の皆様をはじめ、地域振興や地域の街づくりを所管する関係各課とも十分連携を図る中で、「地域コミュニティの核」としての役割も担うことができる学校づくりを進めてまいりたいと考えている。

平成24年3月定例会 一般質問



厳しい市財政運営の中、現状と今後

石田 正博 議員 【いしだ まさひろ】



質問

- ①市税収入の予測と義務的経費の状況(H20年度をピークに減少している市税収入の今後の予測と対策)
- ②財政的裏づけと経費削減に対する今後(将来を見据えた施策の選択と事業の優先度の考え方)
- ③経費削減を実現するための行政改革の進め方(将来戦略プランを軸とした市長任期中の行政改革に対する決意)
- ④厳しい財政運営に対する職員個人の意識(聖域なき行政改革の市長決意から職員の意識付けの指導体制は)

答弁

平成24年度予算では、法人市民税が前年比58.2%減と大きく落ち込み、急激に回復することは考えにくい状況。本市の今と未来に対する責務を、どのようにバランスさせていくかを、しっかりと見極めていく。今後は社会保障関係経費の増大は避けることは出来ない。その一方で道路・排水路・学校関係等社会資本の大規模な改修、都市基盤整備の財源が必要。そのような中、財源状況を見極め、身の丈に合った事業実施に努める。次の世代にこれ以上の財政的重荷を負わせることはできない。事業の選択と集中に努め、事務的経費の節減、行政改革の徹底を進める。市民の皆様、議会とも十分ご意見をお聞きして、様々な行政課題のバランスよく対応する必要がある。給与の適正化を図り総人件費の抑制と財源捻出に努める。全ての事業を聖域とせず見直す。透明性を高め、市民の立場に立って、新設・公平かつ迅速に行動できる倫理観の強い職員として、意識の高い職員の育成に努める。

議員紹介

矢野 友次郎

やの ともじろう
総務常任委員会
民主党宇治市議会議員団長
琵琶台二丁目10番地の14 TEL.22-0047



西川 博司

にしかわ ひろし
総務常任委員会 委員長
伊勢町南山42番地の18 TEL.43-5706



松峯 茂

まつみね しげる
建設水道常任委員会 / 議会運営委員会
広報委員会 委員長
木幡北畠25番地の8 TEL.090-8798-6778



田中 美貴子

たなか みきこ
議会運営委員会 副委員長
市民環境常任委員会
横島町落合9番地の60 TEL.20-2002



石田 正博

いしだ まさひろ
市民環境常任委員会 委員長
広野町大開9番地の118 TEL.29-2866



真田 敦史

さなだ あつし
文教福祉常任委員会 副委員長
広報委員会
菟道藪里41番地の314号 TEL.23-3315

